

和紙の里 ひおき

発行 平成28年12月25日
日置地区まちづくり協議会
鳥取市青谷町山根218
電話 0857-86-0836
FAX 0857-86-0837
Eメール cc-hioki@city.tottori.tottori.jp
題字 棚田 大さん

3号

進行役を務めて



早牛 小林正和

11月20日行われた収穫祭&和紙フェスタへ進行役として参加させて頂きました。久しぶりの賑わいに気持ちもワクワク。日置地区・地区外から多くの来場を頂き、マイクを握る気持ちも昂るくらいに個人的には盛り上がりました。収穫祭要員にあたった役員と交流を深め、来場頂いた方とマイクを通じて気持ちが通い合ったような気持ちになりました。こんな行事に少しでも多く協力したいとともに、もっと大きな取り組みとして地区民が交流できるよう協力したいですね。ひおき収穫祭・因州和紙にかんぱ~いです。



和紙フェスタ・ひおき収穫祭

まちづくり協議会会長 伊藤博光

青谷地域にぎわい創出事業の一環として、青谷地域にぎわい創出実行委員会と日置地区まちづくり協議会の共催で「因州和紙フェスタ・ひおき収穫祭」が、あおや和紙工房を中心に開催されました。日置地区を初め町内外からも多くの方に足を運んで頂き、大きな成果を上げることが出来ました。

ひおき収穫祭では、日置まちづくり協議会、日置地区公民館を中心に、各集落役員・各集落公民館・サークルの皆さんの協力により、開催準備、当日のお客様対応、あと片づけまで日置地区ならではのまとまりに、他地区の方より驚きの称讃をいただきました。

地域の皆様にもあおや和紙工房・日置公民館が日置の拠点として大きな役割を果たしていることが、あらためて認識された事でしょう。

これからも、地域の皆様と共にまちづくり協議会・日置地区公民館は、持続性のある住みよいまちづくりを目指して取り組んでまいります。



賑わったひおき収穫祭

環境部会 城市好春

11月20日(日)、午前10時から、あおや和紙工房で天候にも恵まれ盛大に開催され、当初の予想を上回る約500人から550人位(びよんびよんネット統計)のご参加をいただきました。

各集落公民館による屋台、そばサークルによる手打ちそばの販売、豚汁、杵つき餅の無料配布など、多くのメニューでたくさんの方に喜んでもらい、「来年もしてね」「ありがとう」の言葉に安堵しました。

また日置地区体育館で開かれた和紙フェスタには、栄町の書道家たい妖さんによる書道パフォーマンスと体験教室、作品の展示などに多くの来場者があり、「久しぶりに書いたわ」「やっぱり毛筆はええね」とか、和紙文化に触れていただきました。

話は変わって、私の子どもの頃は、親から「ご飯を食べる間くらいは静かにして食べる！」とよく叱られたものです。しかし今は「食べながらの会話は個性を生む！」とも言われることを思い出しました。本当は会話を楽しみ、自由に喋りながら食べる方が体にもよいし、最も楽しい時間を作り上げる一つではないでしょうか。

おいしそうにお喋りをしながら食べる来場者の笑顔が一番のご褒美であり、これからも続けていくべきイベントではないかと感じました。

最後に、今回の催しを企画・運営されたスタッフの方々に感謝いたします。ありがとうございました。



深澤鳥取市長にもご挨拶頂きました

紙すき唄

はねそ踊り

オカリナ

振る舞われた豚汁・杵つき餅

体育館の様子

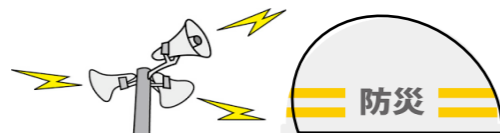
たい妖さんの毛筆アート

わしの子フリーマーケット

作品展示

【防災部会】

日置地区防災訓練



9月18日防災訓練を行いました。まず、体育館にて救命救急・緊急時の対処方法を、気高消防署青谷出張所の方に、講習及び指導をしていただき、万一の災害に対処できるように技術の向上を図りました。いざという時は、まず自分の身の安全を守る事、日頃から防災情報の入手に心掛け、いざという時は、適切な行動がとれるようにして下さいというご指導もありました。

その後、グラウンドに各集落自警団が集合し、第五分団の皆さんに放水訓練の指導をして頂きました。日頃行っている訓練でも、時と場所が違えば少し慌てたりもあり、落ち着いて訓練を繰り返すことが大切ですとの講評がありました。 防災部 房安豊信

今回の防災訓練は、消火栓からの放水訓練を併せて行いました。被害を最小限に抑えるには、初期消火が一番重要です。最寄の消火栓からホースを2本延ばせば、ほとんどの民家に届くはずですが、火災が無いことが何よりですが、万が一のときに備えて消火栓を確実に使えるように出来ることは大事だと思います。 青谷第五分団 分団長 長谷川英二

最近、災害についての社会全体の意識が高まる中、日置地区では年1回各集落の自警団が集まり第五分団の指導による消火訓練、災害時における救命救急講習等をやっていますが、団員だけでなく地区住民を交えた訓練もこれからは考えていかなければいけないと思います。 河原消防団長 細川久司

各集落での活動

小畑では年に2回の住民の方を対象とした訓練を行っています。今年はそのに加えて11月13日に模擬火災の訓練を行いました。青谷の5つの分団から7台の消防車が出動し、中継を経て本番さながらの放水をする様は、見ていた人の気も引き締まった事と思います。 小畑消防団長 広富利典

地区住民の防災意識の向上を目的とした「消火器による消火訓練」を5月15日(日)、山根公民館にて開催しました。住民と自警団員合わせて20人が参加し、松谷ポンプ(株)さんの指導のもと、火元に向けて粉末消火器を噴射、消火作業をしました。初めて使用する方もおり、早期消火のためには噴射先をしっかりと火元に向ける事の大切さを体験しました。同日、事前注文を受けた消火器の配布も行いました。

山根消防団長 大西 甚



【福祉部会】

健康づくり講座を開く

福祉部会 中宇地 節雄

福祉部会は、日置地区に暮らす人たちが、年齢を重ねてもできるだけ自分のことは自分でできるように、そして住みなれた地域でいつまでもお元気に暮らしてもらえるように、健康寿命を延ばす活動に取り組んでいます。

10月16日(日)には、山根出身で鳥取赤十字病院医師の塩宏さんを講師に迎えて健康づくり講座を開きました。この健康づくり講座は、昨年につづいて2回目の開催となり、会場の日置地区体育館には100人を超える多くの参加がありました。

塩先生は、健康寿命を延ばすためには運動をつづけること、体を動かすことがとても大切だと話されました。例えば、「天気が良ければ外を歩く。雨の日は家の中でスクワット。家事で家の中を歩き回ったり階段を昇り降りするのも、よく体を動かすことになるので良い」、「少なくとも一日10分は歩く。できれば30分～60分歩くと生活習慣病になりにくい。歩きながら計算するなど、体と頭を同時に使うと、認知症予防などにも効果がある」—など、たいへんわかりやすいお話で、参加者にも好評でした。

福祉部会は、日置地区でのラジオ体操の普及に力をいれているところですが、河原集落で定期的に取り組まれているほかは、まだ十分に浸透できていないのが現状です。引きつづき各集落・団体での普及に取り組むたいと考えています。

また、来年3月11日(土)には「健康づくりウォーキング」を実施する予定で、準備をすすめています。あらためて呼びかけしますので、ぜひとも多くの方のみなさまのご参加をお待ちしています。



夏休み、みんなでラジオ体操!



3月11日(土)

健康づくりウォーキング

場 所 日置地区公民館
時 間 午前9時受付
コース 早牛コース(4km)

詳細は別途チラシを配布します

【環境部会】

環境整備

9月18日にはたくさんの方の参加のもと、旧日置小学校・グラウンド・公民館周辺の環境整備を行いました。

暑い中の草刈りをありがとうございました。又、後日体育会がグラウンドの土入れを行いました。応急整備された中で運動会を盛大に行うことができました。ありがとうございました。



短時間で花壇らしくなりました 連日の雨に相当ぬかるんでいました

【城北地区との交流】

10月22日、秋の城北地区文化祭に「まめな会」の作品や、こんにやく・しぐれ漬け・山菜おこわなどを販売しました。手作りの品を楽しみにしてくださっていた方も多く、大盛況となりました。

また、和紙フェスタ・ひおき収穫祭には城北地区の皆さんにたくさん来て頂き、ひおき収穫祭を盛り上げて頂きました。城北まちづくり協議会会長のご挨拶を頂いた他、和紙工房で紙漉きやちぎり絵など日置ならではの体験をして頂くことができました。



3月19日(日)

日置川清掃

時間 午前8時30分
各集落公民館集合
※小雨決行 大雨の場合朝8時に放送でアナウンスします

3月19日(日)

旧日置小学校グラウンド整備

日置川清掃後にグラウンドの土入れを行います。地域のみなさん、ご協力頂けますようよろしくお願ひ致します。